

### 令和2年産情報

- 山形** 茎数は平年並み～やや多めで葉色は濃い状況です。これから降雨の予報が多いことから、中干の効果を高めるようにすることと、葉色をみて穂肥の量を調節がされるようです。
- 栃木** コシヒカリは幼穂形成期を迎えています。
- 新潟** 新之助の生育はやや早く、草丈は長く茎数はやや多い状況です。コシヒカリも茎数は多めで3日程度早めの生育となっています。長岡ではこしいぶきが幼穂形成期を迎えています。新之助は食味確保の観点から、茎数増加を抑えるように指導がなされています。
- 石川** 田植え後の気温がやや高めで日照時間は県内全域でかなり多くなりました。コシヒカリは草丈が116%と長くなっていますが、茎数は平年並みとは言え平年を下回っております。現状では能登の生育が早く進んでいるようです。
- 富山** 5月6月の気温が平年より高かつ降水量も多かった一方で、日照時間はかなり多く確保できた模様です。コシヒカリは順調で平年より数日早い幼穂形成期を迎え、このままいくと7月中に出穂期が来ると予想しています。
- 島根** きぬむすめは順調に生育しています。茎数はやや少なめで草丈は若干長めです。
- 佐賀** 雨が続いておりさがびよりとヒヨクモチは草丈・茎数ともにやや遅れ気味の生育状況です。深水になってしまっている圃場があるので指導を行っています。豪雨の影響が大きいことを願っています。

### 今週の玄米入荷情報

- 富山 富富富  
新潟 新之助  
福島 天のつぶ  
福井 コシヒカリ テラル越前  
岩手 ひとめぼれ 前沢限定  
秋田 あきたこまち やまもと  
新潟 魚沼コシヒカリ 十日町  
埼玉 彩のかがやき  
千葉 ふさおとめ  
北海道 ななつぼし  
栃木 コシヒカリ 大田原  
新潟 コシヒカリ 黒川  
群馬 あさひの夢  
北海道 ゆめぴりか  
富山 コシヒカリ  
福島 会津コシヒカリ  
新潟 佐渡コシヒカリ  
福島 会津ひとめぼれ  
青森 まっしぐら

佐賀県は7/6～7にかけて大雨となりました。さらに先週末も雨が降り心配な状況が続いています。



5月分の「1人1ヵ月当たり精米消費量」は4,956g(対前年同月比+2.2%)と、14ヵ月連続で対前年同月を上回りました。コロナ禍での「家庭内消費量」は、巣ごもり消費により、3,477g(同+8.3%)と増加し、中食も先月に引き続き巣ごもり需要により1,032g(同+6.6%)と好調でした。一方外食は飲食店の休業等により447g(同▲33.5%)と大幅に減少し、その結果「中・外食の消費量」は1,479g(同▲9.8%)となりました。

視点を変えてお米の購入量でみると一世帯あたり5.11kgと前年比108%でしたが、購入単価は前年を下回っています。乱暴な表現をすると「安いお米を沢山買った」ということとなります。お米の一人当たり消費量はこの辺が底であると思いたいです。